

資料 7

別記様式（第7条関係）

記者会見連絡票

所属部署（総合政策課）

タイトル	12月からのさくら市イベント等情報
概要（発表内容を簡単に記入してください。）	今回は1月9日まで行われる、「奇跡の渡辺清絵日記」、11月29日に新たにオープンしたまちなか保健室さくら、社会復帰促進センターと道の駅きつれがわ等が共同で行う職業訓練「ネット販売実務科」について
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。）	<p>① 奇跡の渡辺清絵日記 期日：11月26日（土）から1月9日（月・祝） 場所：さくら市ミュージアムー荒井寛方記念館一 (担当 さくら市ミュージアム)</p> <p>② まちなか保健室さくら 11月29日にオープン 場所：さくら市氏家1843-30 開室：毎週火・水・木（祝日含む）10時～14時 (担当 健康増進課)</p> <p>③ 法務省が、さくら市、株式会社小学館集英社プロダクション、ヤフー株式会社と連携して行う 喜連川社会復帰促進センターにおける新たな職業訓練「ネット販売実務科」は、本年11月29日（火）から4か月をかけて学び、最終日の令和5年2月7日（月）には、訓練で制作した成果物（「道の駅きつれがわ」のストアサイト）の発表会を行う予定。 (担当 総合政策課)</p>
注1) より詳細な内容や写真などの提供を求める場合は、担当課にご連絡ください。	
注2) ここに掲載の事業につきましては、当日取材可能事業です	
本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者名、電話番号）	総合政策部 総合政策課 秘書広報戦略室 室長 池田 電話 028-681-1113

※ 1案件ごと1枚作成してください。

第103回企画展 さくら市の歴史と文化

奇跡の渡辺清絵日記



17歳自画像

音の共演、脱穀作業
1906(明治39)年
11月13日



久しぶりに馬に乗る
1907(明治40)年4月22日



ふるさとの山、高原山
1908(明治41)年
2月26日

一大行事、大田植
1908(明治41)年
6月3日



日記を書く 1906(明治39)年8月21日

※全てさくら市指定文化財、個人蔵

2022年
11月26日(土)~1月9日(月・祝)

【開館時間】午前9時~午後5時（入館は午後4時30分まで）

【休館日】毎週月曜日（祝日は開館）、第3火曜日、2022年12月29日（木）~2023年1月3日（火）

【入館料】一般300円（210円）、高校・大学生200円（140円）、小・中学生100円（70円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

22

※さくら市内小中学生は無料、さくら市内の70歳以上の方及び障がい者手帳をお持ちの方と介護者1名は半額

渡辺清絵日記は栃木県塩谷郡熟田村狭間田上組(現在のさくら市)の一人の若者が明治時代から大正時代にかけて書き記した絵日記です。その資料的価値から平成11年にさくら市文化財に指定されました。文書や絵に書かれた内容は、本業である農業をはじめ、分野は多岐にわたり当時の生活がありのままに記されています。日記が記された期間は少年期から成人後までと長期間にわたり、清自身の成長と日本が近代化の道を歩んでいる姿が同時に見られます。対象地域が限定された個人の日記でありながら、地域を問わない共通性や時代を超えた普遍性があることと同時に貴重な日記が今日まで残されていたことの2つがまさに奇跡であり、日本の宝とも言える資料たらしめています。

本展では、この奇跡の渡辺清絵日記をご紹介することで多くの方に知っていただき、後世への継承を図るとともに、現代とは異なるかつての時間の流れや素朴ながら心豊かであった営みをご紹介します。



並木と人力車 1914年(大正3)年8月3日



渡辺清絵日記のうち「僕之日記」



夜学に励む清たち
1907(明治40)年1月10日



節分の豆まき
1908(明治41)年2月4日



渡辺清絵日記 35冊



月下の稲刈り
1907(明治40)年10月16日



コトオサメで屋根にメカイカゴを逆にして掲げる
1908(明治41)年1月11日(旧12月8日)

関連行事

講演会①

演題：「渡辺清絵日記はなぜ“奇跡”なのか」

講師：中野 英男氏

(元さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－館長)

日時：2022年12月18日(日) 14時～

会場：さくら市ミュージアム 講座室

定員：40名(事前予約制) 12月2日(金)午前9時～予約開始

講演会②

演題：現在と未来をつなぐもの－渡辺清絵日記に声を聞く－

講師：篠木 れい子氏(群馬県立女子大学名誉教授・元群馬県立土屋文明記念文学館館長)

日時：2023年1月8日(日) 14時～

会場：さくら市ミュージアム 講座室

定員：40名(事前予約制) 12月13日(火)午前9時～予約開始

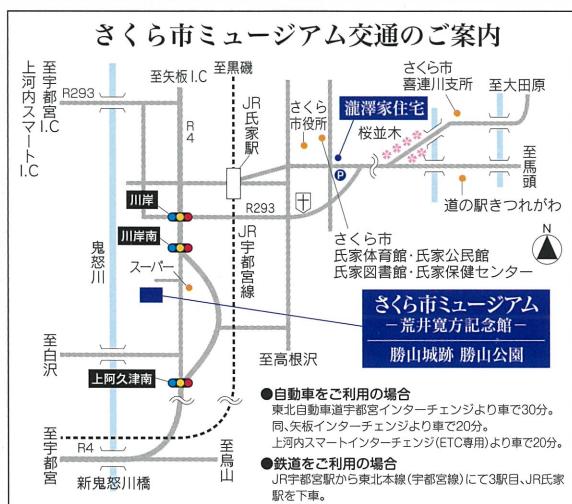
【注意事項】展覧会及び関連行事は、感染症の流行等により、予告なく会期の変更および開催中止になる場合があります。

ご来館の際には事前にお電話か当館ホームページでご確認下さい。

展示解説

日時：2022年12月4日(日)・12月24日(土)・2023年1月9日(月・祝)各日14時～

担当：企画展担当者 要観覧料、申込不要



さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－

〒329-1311 栃木県さくら市氏家1297

Tel 028 (682) 7123 Fax 028 (682) 7854

<http://www.city.tochig-sakura.lg.jp/museum/index.html>

まちなか保健室

気軽に立ち寄ってほっとする場所
明日は、今日よりも健健康な日を
過ごせますように
一緒にお話をしませんか？



☆健康相談
☆健康セルフが
チエキツます
で

まちなか保健室 さくら

～気軽に立ち寄りたくなる
学校の保健室のような場所～



令和4年11月開所

問合せ先：プラチナナーシング会

電話：028-612-3931（開室時間のみ）
住所：さくら市氏家1843-30
開室日：毎週火・水・木曜日（祝日も開催）
10時～14時
(8/13～8/16、12/28～1/5は開室いたしません。)



「まちなか保健室さくら」は、地域のみなさまの健康づくりの場であり
寄り添いの場であることをめざしています。

看護師等の専門職が対応いたしますのでご利用ください。

まちなか保健室さくらでは、
以下を実施しています！



利用料は無料です

健康講座の開催(要予約)

健康相談
育児相談

赤ちゃんの体重測定

体組成測定

血圧・握力測定



令和4年11月29日(火)閣議後の記者会見終了後解禁

報道発表資料

MJ 法務省
Ministry of Justice

令和4年11月29日
矯 正 局

法務省が、さくら市、株式会社小学館集英社プロダクション、ヤフー株式会社と連携して行う喜連川社会復帰促進センターにおける新たな職業訓練「ネット販売実務科」について

官民協働で運営する刑事施設「喜連川社会復帰促進センター」において、今般、さくら市、株式会社小学館集英社プロダクション、ヤフー株式会社と連携し、受刑者を対象としたネットストアの開設・運営に係る職業訓練「ネット販売実務科」を実施します。

本職業訓練は、喜連川社会復帰促進センター及びその周辺地域におけるSDGsの実現につながる取組の一環として、企業の社会貢献事業の推進、地方公共団体の地方創生、官民連携による再犯防止を目指すものであり、受刑者に対して、社会復帰後に有用な教育や職業訓練の機会を付与し、再犯防止に資する取組となっています。

本年11月29日(火)から4か月をかけて学び、最終日の令和5年2月7日(火)には、訓練で制作した成果物(ストアサイト)の発表会を行う予定です。

職業訓練「ネット販売実務科」とは

＜概要＞

- 喜連川社会復帰促進センターにおいて、職業訓練業務を担当している株式会社小学館集英社プロダクションが、ヤフー株式会社からの協力のもと、職業訓練を実施します。
- 男子受刑者9名を対象として職業訓練を行い、実践的なカリキュラムを通じてeコマースを学ぶことで、専門知識及びネットストアを運用するスキルの習得を目指します。
- 本職業訓練においては、ネットリテラシーやコミュニケーションについて

も習得することにより、よりスムーズな社会・職場適応及び就労の継続を目指します。

- 職業訓練のカリキュラムの中で、Yahoo!ショッピング用ストアサイト内にさくら市の「道の駅きつれがわ」のストアサイトを開設し、これを通じて、積極的にさくら市の特産品等の地産外商を推進し、地方創生を支援します。
- 本職業訓練は、美祢社会復帰促進センター（平成30年～）に続いて2施設目の実施となります。

＜本職業訓練の意義＞

- ヤフー株式会社及び株式会社小学館集英社プロダクションにおいては、再犯防止や地方創生の取組の必要性に鑑み、社会貢献事業の一環として本事業に取り組んでいただきます。
- 国民が安全で安心して暮らせる「世界一安全な国、日本」の実現のために、犯罪をした人を再び受け入れることが自然にできる「誰一人取り残さない」社会を実現することが必要であり、本事業は、国、地方公共団体そして民間企業が緊密な連携協力を通じて行う再犯防止推進計画の実施に資する取組となっています。

(問合せ先)

法務省矯正局成人矯正課 鵜川

電話 03-3580-4111(2599)

03-3592-7928(直通)